

“植物成長因子”のエイジングケア化粧品原料 「Repista®」を展開

ビタミンC60 バイオリサーチ㈱(東京都中央区、03-3517-3252)は、植物成長因子「アザオキシヒポキサンチン(AOH)」を世界で初めて有効成分とする化粧品原料「Repista®」の販売を開始した。安全性データも充実しており安心・安全な素材として、新たな顧客への展開にも期待を寄せる。

「アザオキシヒポキサンチン(AOH)」は、2014年に静岡大学農学部・河岸洋和特別栄誉教授によって発見された米や野菜に含まれる希少因子で、植物の成長促進効果や、恒常性の維持、細菌に対するストレス耐性の向上などを確認している。

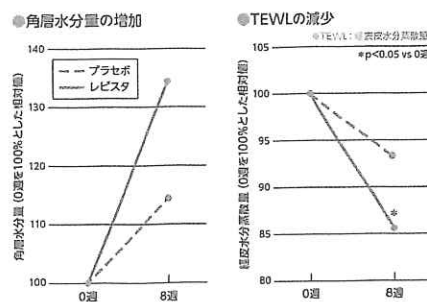
同社はこの細胞賦活作用に着目し、ヒトの表皮細胞に対する効果を分析したところ、皮膚のバリア機能に関する遺伝子群の発現量の増加が確認できたという。さらに美容レーザーを用いたバリア機能回復試験でも、損傷した皮膚のバリア機能の回復が早まることを証明している。また8週間にわたる長期連用試験では、「Repista®」の使用で角層水分量が30%増加、角層を通じて揮散する

水分量(TEWL)が15%減少したとの結果も発表している。(図参照)

最新研究では、ヒアルロン酸産生促進効果や、レチノールとの併用で、レチノールによる細胞障害を緩和する効果も確認している。

2016年に開発をスタートし、5年かけて昨年10月に上市した。評判も良く、既に製品化や販売も進んでいる。「素材の新規性やエビデンスの豊富さなど、フラーレンと似た部分も多い。丁寧に説明しながら、販売していく」と林源太郎代表取締役社長は語っている。

■長期連用試験(ダブルブラインド試験)



角層水分量が30%増加し、TEWLが15%減少しました。